

平成31年度

事業計画書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

目 次

- 1 事業活動方針
- 2 事業概要
- 3 事業区分別事業計画

1 事業活動方針

障がい者の積極的なスポーツ活動を通じて、障がい者スポーツの普及・振興に努めるとともに、障がい者の心身の健康増進及び機能回復を図ることにより、社会参加を促進し、障がい者福祉の向上に寄与する。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を間近に控え、選手・指導者等の育成及び競技の普及・振興を一体的に推進し、障がい者スポーツのトップレベルの選手育成と裾野拡大を図るための取組を実施する。

2 事業概要

当協会は、定款第4条の規定に基づき、次の事業を行う。

(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

障がい者が身近な地域において、日常的にスポーツに取り組める環境を整備するとともに、全国障害者スポーツ大会選手団の派遣を行い、競技を通じたスポーツの楽しさを体験してもらうことで、障がい者の社会参加の促進を図る。

- ① 障がい者団体スポーツ活動支援事業
- ② 福島県障がい者総合体育大会開催事業
- ③ 全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業
- ④ 【新】北海道・東北ブロック予選会開催事業

(2) 障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

障がい者スポーツの振興を図るには、障がい者スポーツの知識のある指導者及びボランティアの養成が必要不可欠である。地域で活動する指導員、専門競技において活動する指導員等、各指導員が得意とする指導環境の整備を行うとともに、障がい者が安心して参加し、それぞれの目的に沿った指導が受けられるように配慮する。

また、指導技術を高めるほかに、事業の企画・運営など地域の特色に合わせたマネジメントができる指導員の育成を図る。

- ① 初級指導者養成講習会開催事業
- ② 障がい者スポーツ指導者育成支援事業（中級・上級資格取得のための支援）
- ③ 福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業
- ④ 障がい者スポーツ医科学サポート事業

(3) 障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

特別支援学校卒業後など、競技に取り組める環境づくりをするために、障がい者の各種競技団体を育成・強化に資する取組を支援し、継続してスポーツをする環境を整備する。

- ① 選手指導者組織育成支援事業
- ② 団体競技強化支援事業

(4) 障がい者スポーツ選手の競技力の向上

2020年東京パラリンピックの開催決定により、障がい者スポーツ振興の盛り上がりを見せるこの機会に、障がい者の積極的な活動を通じた社会参加、自立を促進するため、選手・指導者の育成強化と競技の普及・振興を一本化し、トップレベルの選手の輩出と障がい者スポーツの裾野の拡大を図る。

- ① 各種助成事業
 - ア 国際大会等出場助成
 - イ 全国スポーツ競技会等出場助成
- ② 運動導入教室開催事業
- ③ 地域スポーツ教室開催事業
- ④ 種目別スポーツ教室開催事業
- ⑤ 各障がい者スポーツ大会支援事業
- ⑥ ふくしまパラアスリート支援事業

(5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

協会広報紙を発行し広く情報を発信する。また、ホームページ等を活用し、広く一般スポーツ情報の提供等を行う。

- ① 協会広報紙の発行及び障がい者スポーツに関する情報提供

(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

国及び県のスポーツ推進に関わる会議等に出席し情報収集を図ると共に、前例のない障がい等に対応する競技用具の研究開発にあたる。

- ① 各種障がいスポーツに関する情報収集
- ② 日本障害者スポーツ学会への参加等調査研究
- ③ 障がい者スポーツ医科学委員会の開催

(7) その他の事業

自治体及び企業等が主催する障がい者を含めた事業に対し、障がいをお持ちの方が安心して参加するため、主催者に対し助言・支援を行う。

また、学校教育における障がい者スポーツ関連授業等に対し、講師の派遣を斡旋するなどの協力を行い、障がい者スポーツ・福祉への理解を深める。

- ① チャレンジド・スポーツ支援事業

(8) 協会の運営

障がい者スポーツの中核的組織である本協会の安定した運営を図ることは、本県障がい者スポーツ活動推進の安定につながるものである。会員拡大、協賛企業の確保に努め、円滑な障がい者スポーツの振興を図る。

- ① 賛助会員拡大にむけた活動
- ② 協賛企業確保にむけた活動
- ③ 各種助成金・補助金の獲得

3 事業区分別事業計画

【公益事業】(1) 障がい者スポーツの大会の開催及び奨励

事業名	①障がい者団体スポーツ活動支援事業	予算額	450 千円
		前年度予算額	450 千円
目的	障がい者のスポーツを通じた社会参加や日常生活の充実を促進するため、各障がい者団体等が行うスポーツ活動に対し助成する。		
内容	<p>事業概要 本県障がい者スポーツの推進に寄与している、障がい者を対象にスポーツ事業を展開している団体に対し、予算の範囲内において事業の一部を助成する。</p> <p>事業目的 本県在住の障がい者が、地域においてスポーツに親しむ活動に対し支援する。</p> <p>事業実施主体 県内に所在する障がい者スポーツに関する事業に取り組む団体。</p> <p>対象事業 (1) 県内在住の障がい者団体で、地域においてスポーツを通して社会参加と復帰を図るもの。 (2) 当協会の県大会等共催事業等他の助成事業と重複しないもの。</p> <p>提出書類 実施の1ヶ月前までに、申請書、実施要綱・要領(案)、予算書、前年度実績報告等事業の内容が分かる資料を添付し提出する。</p> <p>助成額 (1) 事業実施主体に対し、事業数に関わらず1団体につき20,000円以内を助成する。 (2) 新規にスポーツ事業を実施する際に必要な経費のうち、一団体100,000円以内を限度とし助成する。</p>		
参考	<p>平成30年度実績</p> <p>県内障がい者競技団体、県内障がい者福祉団体等 新規障がい者スポーツクラブ設立(2団体)</p>		

事業名	②福島県障がい者総合体育大会開催事業	予算額	3,179千円																																									
		前年度予算額	3,014千円																																									
目的	<p>障がい者が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加意識と社会的自立を促進し、あわせて県民の障がい者に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>なお、本大会は第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ大会）個人競技の予選を兼ねるものとする。</p> <p>ただし、全国大会派遣種目、選手の決定等については、大会後に開催する選考会を経て、福島県の総合的な判断により決定する。</p>																																											
内容	<p>大会概要</p> <p>期日：平成31年5月19日（日）郡山市を中心に開催予定。</p> <p>競技種目・会場：13競技・会場（予定）は以下のとおり。</p>																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>競技種目</th> <th>障がい種別</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陸上競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>郡山市開成山陸上競技場</td> </tr> <tr> <td>フライングディスク競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>田村市陸上競技場</td> </tr> <tr> <td>卓球競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>郡山市西部体育館</td> </tr> <tr> <td>サウンドテーブルテニス競技</td> <td>身体</td> <td>郡山市障害者福祉センター訓練室</td> </tr> <tr> <td>アーチェリー競技</td> <td>身体</td> <td>会津若松市白龍山泰雲寺アーチェリーレンジ</td> </tr> <tr> <td>サッカー競技</td> <td>知的</td> <td>郡山市熱海フットボールセンター</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール競技</td> <td>知的</td> <td>郡山市総合体育館</td> </tr> <tr> <td>車椅子バスケットボール競技</td> <td>身体</td> <td>郡山市障害者福祉センター体育室</td> </tr> <tr> <td>バレーボール競技</td> <td>身体・精神</td> <td>郡山市総合体育館</td> </tr> <tr> <td>水泳競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>本宮市市民プール</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール競技</td> <td>知的</td> <td>郡山市ふるさとの森スポーツパークソフトボール場</td> </tr> <tr> <td>グランドソフトボール競技</td> <td>身体</td> <td>郡山市ふるさとの森スポーツパークソフトボール場</td> </tr> <tr> <td>ボッチャ競技</td> <td>身体</td> <td>福島県立郡山支援学校</td> </tr> </tbody> </table> <p>「第19回全国障害者スポーツ大会」選手選考会議</p> <p>期日：平成31年6月第1週、福島市内において実施予定</p> <p>主催：福島県</p>			競技種目	障がい種別	会場	陸上競技	身体・知的・精神	郡山市開成山陸上競技場	フライングディスク競技	身体・知的・精神	田村市陸上競技場	卓球競技	身体・知的・精神	郡山市西部体育館	サウンドテーブルテニス競技	身体	郡山市障害者福祉センター訓練室	アーチェリー競技	身体	会津若松市白龍山泰雲寺アーチェリーレンジ	サッカー競技	知的	郡山市熱海フットボールセンター	バスケットボール競技	知的	郡山市総合体育館	車椅子バスケットボール競技	身体	郡山市障害者福祉センター体育室	バレーボール競技	身体・精神	郡山市総合体育館	水泳競技	身体・知的・精神	本宮市市民プール	ソフトボール競技	知的	郡山市ふるさとの森スポーツパークソフトボール場	グランドソフトボール競技	身体	郡山市ふるさとの森スポーツパークソフトボール場	ボッチャ競技	身体
競技種目	障がい種別	会場																																										
陸上競技	身体・知的・精神	郡山市開成山陸上競技場																																										
フライングディスク競技	身体・知的・精神	田村市陸上競技場																																										
卓球競技	身体・知的・精神	郡山市西部体育館																																										
サウンドテーブルテニス競技	身体	郡山市障害者福祉センター訓練室																																										
アーチェリー競技	身体	会津若松市白龍山泰雲寺アーチェリーレンジ																																										
サッカー競技	知的	郡山市熱海フットボールセンター																																										
バスケットボール競技	知的	郡山市総合体育館																																										
車椅子バスケットボール競技	身体	郡山市障害者福祉センター体育室																																										
バレーボール競技	身体・精神	郡山市総合体育館																																										
水泳競技	身体・知的・精神	本宮市市民プール																																										
ソフトボール競技	知的	郡山市ふるさとの森スポーツパークソフトボール場																																										
グランドソフトボール競技	身体	郡山市ふるさとの森スポーツパークソフトボール場																																										
ボッチャ競技	身体	福島県立郡山支援学校																																										
参考																																												

事業名	③全国障害者スポーツ大会福島県選手 団派遣事業	予算額	8,406 千円
		前年度予算額	10,032 千円
目的	福島県障がい者総合体育大会に出場した選手のうち、選手選考会議を経て、本県代表選手を派遣する。また、同予選会を優勝した団体競技を全国障害者スポーツ大会に派遣する。(団体競技の選手派遣に係る予算措置は、優勝決定後に福島県が補正予算で対応予定)		
内容	<p>派遣期間：平成31年10月10日(木) 結団式 11日(金) 公式練習 12日(土) 開会式 13日(日) 2日目 14日(月) 閉会式 15日(火) 帰県(解団式)</p> <p>派遣人数： 選手36名(予定)、役員31名(予定)</p> <p>大会規模： 参加選手約3,500名(想定)、役員約2,000名</p> <p>実施競技：</p> <p>○個人競技：6競技 陸上競技(身・知)、水泳(身・知)、アーチェリー(身)、卓球(身・知・精) (サウンドテーブルテニス(身)を含む)、フライングディスク(身・知)、ボウリング(知)</p> <p>○団体競技：7競技 バスケットボール(知)、車椅子バスケットボール(身)、ソフトボール(知)、 グラウンドソフトボール(身)、バレーボール(身・知・精)、サッカー(知)、 フットベースボール(知)</p> <p>○オープン競技：6競技 グラウンド・ゴルフ(身・知・精)、車いすダンス(身)、スポーツウエルネス 吹矢(身・知・精)、卓球バレー(身・知・精)、ハンドアーチェリー(身・知)、 ブラインドテニス(身)</p>		
参考	※今大会より卓球競技に精神障がい者部門が導入される。		

事業名	④北海道・東北ブロック予選会開催事業	予算額	1,464 千円								
		前年度予算額	0 千円								
目的	全国障害者スポーツ大会予選会である北海道・東北ブロック予選会を福島県内で開催する。										
内容	大会概要 期日：平成31年6月に開催予定。 競技種目・会場：2競技・会場（予定）は以下のとおり。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>競技種目</th> <th>障がい種別</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バスケットボール</td> <td>知的</td> <td>福島県営あづま総合体育館</td> </tr> <tr> <td>バレーボール競技</td> <td>精神</td> <td>調整中</td> </tr> </tbody> </table>			競技種目	障がい種別	会場	バスケットボール	知的	福島県営あづま総合体育館	バレーボール競技	精神
競技種目	障がい種別	会場									
バスケットボール	知的	福島県営あづま総合体育館									
バレーボール競技	精神	調整中									
参考	北海道、東北各県及び政令指定都市持ち回りで開催。										

【公益事業】（２）障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	①初級指導者養成講習会開催事業	予算額	380 千円
		前年度予算額	380 千円
目的	障がい者スポーツ指導者を養成し、県内各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与することを目的に、福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会を実施する。		
内容	<p>平成31年度福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会</p> <p>障がいの基本内容を理解し、障がいをお持ちの方へのスポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身に付け、健康や安全管理を重視した指導ができる指導者を育成する。</p> <p>講習会概要</p> <p>○共催：福島県教育委員会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会（予定）</p> <p>○後援：（公財）福島県体育協会、（公財）日本障がい者スポーツ協会</p> <p>○募集対象：本県に住所を置く、平成31年4月1日満18歳以上で、障がい者スポーツに理解と熱意を有し、資格取得後は障がい者スポーツ指導者として活動できる方。</p> <p>○実施日：調整中</p> <p>○会場：調整中</p> <p>○募集人員：30名</p> <p>○募集期間：調整中</p> <p>【障がい者スポーツ指導者の役割】</p> <p>講習会において全課程を修了し、公認指導者登録を取得した者は、公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会の附属機関である福島県障がい者スポーツ指導者協議会に登録される。初級指導者は、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを伝え、スポーツをとおしての社会復帰・参加・自立への手助けをすることとなり、資格取得後は、障がい者スポーツの振興を図るため、各種スポーツ活動に協力し、本県の障がい者スポーツの普及と振興にあたる。</p>		
参考	福島県スポーツ推進計画において、障がい者スポーツ指導員の増員を提唱されている。		

事業名	②障がい者スポーツ指導員育成支援事業 (中級・上級資格取得のための支援)	予算額	391 千円
		前年度予算額	585 千円
目的	上級資格取得、専門資格取得講習会に指導者を派遣し、専門指導の知識を高め、指導者に対する指導ができる指導者及び安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導者を養成する。		
内容	<p>事業概要</p> <p>指導者が上級・専門資格取得のため講習会等に参加する際の必要経費について助成を行う。</p> <p>※想定講習会等</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 中級指導者養成 (2) 障がい者スポーツトレーナー養成 (3) 障がい者スポーツトレーナー技術講習会 (4) 障がい者スポーツ医養成 (5) 全国障害者スポーツ大会、専門競技クラス分委員養成 		
参考			

事業名	ふくしまパラコーチ支援事業	予算額	0 千円
		前年度予算額	676 千円
目的	指導者が中央競技団体等の主催する研修会へ参加する場合や、全国大会・国際大会へ参加等する場合に助成を行い、指導力のレベルアップを図る。		
内容	<p>事業概要</p> <p>本県の障がい者スポーツの競技力向上の推進役として期待できる指導者を「ふくしまパラコーチ」として指定し、指導者が中央競技団体等の主催する研修会へ参加する場合や、全国大会等へ参加等する場合に必要な費用について支援する。</p>		
参考	平成30年度をもって事業終了。		

事業名	③福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業	予算額	300千円
		前年度予算額	300千円
目的	<p>専門指導力及び選手の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するため、当協会内部組織である「福島県障がい者スポーツ指導者協議会（専門部による指導者への指導、競技部による専門競技団体との連携及び各支部による地域スポーツの振興）」の運営を支援する。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>(1) 福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会</p> <p>(2) 役員会の開催 2か月に一度の役員会を開催し、各部の進捗状況確認と指導を実施</p> <p>(3) 各部会（各部運営委員会）の開催 3か月に一度、各部会の開催</p>		
参考	自主事業		

事業名	④障がい者スポーツ医科学サポート事業	予算額	363 千円
		前年度予算額	868 千円
目的	障がい者スポーツ関係事業を安全に実施していくことに加え、適切な運動動作等による競技力向上を図るため、障がい者スポーツ医を構成員とした医科学委員会を開催し、医師の知見を踏まえ、季節毎のスポーツの取り組み方等のガイドラインの作成・配付する。		
内容	事業概要 障がい者スポーツ医を構成員とした医科学委員会の中で、医師の知見を踏まえたガイドラインを作成し、指導者や選手等に配付する。		
参考			

【公益事業】（３）障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	①選手指導者組織育成支援事業	予算額	50 千円
		前年度予算額	50 千円
目的	<p>特別支援学校、学級卒業後、競技として取り組むことを望む選手に対して、障がい者の各種競技団体を育成・支援し、競技環境を整える。また、専門競技の障がい者スポーツ指導者の活躍の場を確保し、得意種目の指導ができる環境を整備する。</p> <p>なお、競技を継続する上で特別な支援が必要とする個人競技選手、指導者に対して必要な支援を行う。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>選手、役員、競技団体に対し、人材育成支援、組織運営支援、選手発掘・育成に関わる支援協力を行い競技環境の充実を図る。</p>		
参考	<p>自主事業 過去の支援実績</p> <p>平成 8 年：知的障害者バスケットボール普及 平成 8 年：フライングディスク、ボッチャ競技普及開始 平成 9 年：冬季競技日本代表発掘事業（ジュニア発掘・育成） 平成 12 年：福島県障害者フライングディスク協会設立準備及び設立 平成 16 年：車椅子バスケットボール日本代表育成 平成 21 年：福島県障がい者陸上競技協会再編支援 平成 23 年：福島県障がい者アーチェリークラブ支援 平成 25 年：水泳選手育成支援 平成 27 年：陸上競技選手の競技用車椅子シーティング作成 平成 28 年：パラバドミントン選手支援</p>		

事業名	②団体競技強化支援事業	予算額	2,970 千円
		前年度予算額	3,000 千円
目的	<p>全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会等への参加や強化合宿等の実施に必要な費用を支援し、団体競技に取り組む障がい者アスリートの競技力向上を図る。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>福島県代表団体競技チームが、全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会等に出場する場合や、競技力向上のため強化合宿等の実施及び外部コーチ・指導者の招聘に必要な経費を支援する。</p> <p>○想定団体競技種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール ・車椅子バスケットボール ・グランドソフトボール ・バレーボール（聴覚・精神） ・サッカー ・パラ駅伝 		
参考			

【公益事業】（４）障がい者スポーツ選手の競技力の向上

事業名	①各種助成事業	予算額	650 千円
		前年度予算額	700 千円
目的	<p>パラリンピック、デフリンピックなどに日本代表として出場する選手・役員に対して激励金を贈呈する。</p> <p>競技力向上を目指す選手・役員に対して、全国大会等に出場する選手に対して助成をし、財政的支援を行う。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>① 国際大会等出場助成事業（150 千円） 国際大会に出場する選手に対して、激励金として下記内容を支給する。</p> <p>（１）競技種目ごとに開催されるアジア大会、国内で開催されるIPC公認の国際大会等において、日本代表として出場する本県出身の選手に対して5万円以内。 ※激励金の額については、その都度調整。</p> <p>（２）パラリンピック、デフリンピックなど日本パラリンピック委員会より派遣される本県出身の選手に対して10万円以内。 ※激励金の額については、その都度調整。</p> <p>② 全国スポーツ競技会等出場助成事業（500 千円） 各競技種目の全国大会及び東北大会に出場する選手（団体競技含む）、役員に対し、経費の一部を助成する。ただし、上限は10万円以内。 ※平成31年度は、全国大会3,000円／人、東北大会2,000円／人を予定</p>		
参考	自主事業		

事業名	②運動導入教室開催事業	予算額	1,584 千円
		前年度予算額	1,067 千円
目的	<p>障がい者（中途障がい者含む）が運動・スポーツに接する機会が少ないことから、障がい者スポーツへの理解促進等を図ることを目的とし、障がい者が運動を始める機会の提供や医事、スポーツ障がい予防、補装具等についての相談・指導を行う。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>①障がい者が運動等を始める際の医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士 2 名（障がい者スポーツ指導員有資格者） ・整形外科医 1 名（障がい者スポーツ医有資格者） ・補装具アドバイザー 1 名（障がい者スポーツ指導員有資格者） ・自動車整備士 1 名（障がい者スポーツ指導員・福祉自動車整備士有資格者） ・障がい者スポーツ指導者 2 名（スポーツコーチ、中級等上級資格者） <p>②障がい児などに対し、遊びの中で、楽しく運動をしながら車椅子の操作や、障がい程度に合わせた身体の動かし方を会得していく。</p> <p>③中途障がい（成人になってから障がいを負った方とその家族・介助者）に対し、車椅子操作、義足での歩行、片麻痺の運動指導等の各障がい現況に合わせた指導を行う。</p> <p>④各個人の身体・障がいに合わせた内容のスポーツ教室（種目別教室）への参加を促す。</p> <p>⑤運動能力が高い方については、さまざまなスポーツ経験をした後に、自らが望む専門競技団体への参加を支援する。</p> <p>⑥県北会場：福島市（隔週火曜日及び第三日曜日開催予定） 県中会場：郡山市（毎週木曜日及び第一日曜日開催予定）</p>		
参考			

事業名	③地域スポーツ教室開催事業	予算額	1,100 千円
		前年度予算額	1,000 千円
目的	地元自治体や障がい者スポーツ指導者協議会各支部と連携し、身近な地域でスポーツに親しむ環境づくりを推進する。		
内容	<p>事業概要</p> <p>地区スポーツ教室・大会開催・講習会の開催支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県北支部（想定） <ul style="list-style-type: none"> 教室：二本松市岳体育館、あづま総合体育館等（11回） 大会：チャレンジカップ2019（1回） ○県中支部（想定） <ul style="list-style-type: none"> 教室：郡山市障がい者福祉センター等（11回） 大会：県中エンジョイスportsフェスティバル（1回） ○県南支部（想定） <ul style="list-style-type: none"> 教室：福島県勤労障がい者体育館等（11回） 大会：県南FANFUNスポーツ大会（1回） ○会津支部（想定） <ul style="list-style-type: none"> 教室：会津若松ふれあい体育館等（11回） 大会：会津障がい者スポーツ大会（1回） ○相双支部（想定） <ul style="list-style-type: none"> 教室：相双地区管内体育及び福祉施設等（11回） 大会：相双DANDANスポーツ大会（1回） ○いわき支部（想定） <ul style="list-style-type: none"> 教室：いわきサン・アビリティーズ等（11回） 大会：いわきスポーツフェスティバル（1回） 		
参考			

事業名	④種目別スポーツ教室開催事業	予算額	2,969 千円
		前年度予算額	2,499 千円
目的	<p>障がい者が運動スキルを楽しく身につけ、また、得意分野を発見できるよう幅広い種目のスポーツ教室を開催する。各競技団体等と連携して共同開催とし、選手の育成・強化と普及・拡大を一体的に取り組むことに加え、一部の競技種目では中央競技団体等から講師を招き、全国大会等各種大会に出場できる選手の育成及び競技力の向上を図る。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>①障がい者が運動スキルの基礎を楽しく身につけ、得意分野を発見できるようにさまざまな種目のスポーツ教室を開催する。</p> <p>②障がい者が各スポーツ競技団体と交流することで、競技への参加を促進する。選手は、各種大会への出場などそれぞれの目標に向かい、生きがいをもつことができる。</p> <p>○実施予定競技種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技（12回） ・フライングディスク競技（12回） ・卓球（8回） ・サウンドテーブルテニス（4回） ・アーチェリー（6回） ・サッカー（8回） ・バスケットボール（8回） ・車椅子バスケットボール（8回） ・ウィルチェアーラグビー（6回） ・水泳（4回） ・グランドソフトボール（4回） ・ボッチャ（12回） ・バドミントン（4回） ・クロスカントリースキー（4回） ・ハンドバイク（4回） ・パラ駅伝（4回） 		
参考			

事業名	⑤各障がい者スポーツ大会支援事業	予算額	660 千円
		前年度予算額	600 千円
目的	<p>県内の各障がい者スポーツ競技団体は財政的に苦しい状況にあるが、選手に練習の成果を発揮する場及び実戦を通じた競技力向上を図るため、各種大会を開催していることから、県内で開催される各競技種目の大会開催に要する費用を支援する。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>県内で開催される各競技種目の大会に対して開催経費の一部を助成する。障がい者スポーツ団体が財政的に苦しいなかで開催している大会を支援することで、県内で競技会に参加できる機会を確保する。</p> <p>○想定競技種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技 ・バスケットボール（知的） ・ウィルチェアラグビー ・フライングディスク競技 ・車椅子バスケットボール ・シッティングバレーボール ・卓球 ・ボッチャ ・サッカー ・ハンドバイク 		
参考			

事業名	国際障がい者アスリート支援事業	予算額	0 千円
		前年度予算額	451 千円
目的	国際的に活躍する障がい者アスリート、障がい者スポーツ指導者（コーチ）及びボランティアの増加及び資質向上を図る。特に国際舞台で活躍できる人材の育成を図る。		
内容	<p>事業概要</p> <p>各競技の強化選手及び指導者に対し、障がい者スポーツシーン英会話レッスン講習会を開催する。</p> <p>障がい者スポーツに関わる英語（クラス分の受け方、ドーピングの受け方等）を学ぶとともに国際舞台で活躍するために必要な教養（オリンピック・パラリンピックの歴史や自分の競技の歴史等ほか）を身につける。世界各国の文化・教育・宗教・習慣を英語で学び、国際的なコミュニケーションができる人材の育成を図る。</p>		
参考	平成30年度をもって事業終了。		

事業名	⑥ふくしまパラアスリート支援事業	予算額	4,436 千円
		前年度予算額	3,831 千円
目的	<p>2020年東京パラリンピック等での活躍が期待できる本県選手の輩出や選手の育成・強化を図るため、有望な選手を「ふくしまパラアスリート」として指定し、中央競技団体、個人等で実施する強化練習会や大会へ参加する場合に必要な費用を支援する。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>有望な選手を「ふくしまパラアスリート」として指定し、中央競技団体、個人等で実施する強化練習会や大会等へ参加する場合に必要な費用等について支援する。</p> <p>○指定予定者：15名</p>		
参考			

【公益事業】（５）障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

事業名	①協会広報紙の発行及び 障がい者スポーツに関する情報提供	予算額	630 千円
		前年度予算額	630 千円
目的	賛助会員及び会員獲得のため、協会広報紙を発行して情報提供を行う。		
内容	<p>事業概要</p> <p>広報紙の発行等 年1回広報紙を発行する。1回3,000部発行 協会リーフレットの作成 1回5,000部作成</p>		
参考	自主事業		

【公益事業】（６）障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究	予算額	100 千円
		前年度予算額	100 千円
目的	各種会議、講習会等に参加し、最新の情報を元に、安心安全なスポーツ環境の提供を図る。また、前例のない競技者に対し、補装具・競技用具の専門技術者と協同研究をし、日本障がい者スポーツ学会等で発表することで、重度障がい者スポーツの活路を見いだすことを目的とする。		
内容	<p>事業概要</p> <p>①各種障がい者スポーツに関する情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種会議、講習会等に参加し、最新の情報の入手を図る。 ・日本障がい者スポーツ協議会（三協議会） ・東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会 ・その他必要な会議等 <p>②日本障害者スポーツ学会への参加等調査研究</p> <p>医科学委員会に所属する障がい者スポーツ医や障がい者スポーツトレーナー等が、日本障害者スポーツ学会等で、共同研究者の協力のもと研究成果を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究内容：「障がい児・者の活動量に関する研究」（仮称） 「運動導入におけるQOL向上に関する研究」 ・研究者：障がい者スポーツ医、障がい者スポーツトレーナーほか 共同研究者：川村義肢（株）松田靖史 氏ほか ※学会発表における当事者の許可承諾済。 <p>③障がい者スポーツ医科学委員会の開催</p> <p>障がい者スポーツ医等による専門委員会を開催し、障がい者スポーツの医科学サポートの充実を図る。</p>		
参考	<p>自主事業</p> <p>平成30年度実績：「障がいのある子どもの運動指導」</p>		

【公益事業】(7) その他の事業

事業名	①チャレンジド・スポーツ支援事業	予算額	2,000 千円
		前年度予算額	1,412 千円
目的	東日本大震災復興支援事業等で、企業からの障がい者スポーツ支援事業について協力する。		
内容	<p>事業概要</p> <p>①東日本大震災復興支援 東北サンさんプロジェクト</p> <p>(1) サントリーチャレンジド・アスリート奨励金</p> <p>ア 事業対象団体・個人から、対象事業の相談を受ける。</p> <p>イ 福島県内プロスポーツの試合観戦の機会の提供 (2,000 千円)</p> <p>スポーツ参加手段「する」、「みる」、「ささえる」の「みる」に着目し、県内プロスポーツチームの試合を観戦する機会を提供し、スポーツ観戦習慣を定着させる。</p> <p>(2) チャレンジド・アスリートビジット等 (学校訪問活動) 開催協力</p> <p>障がい者、児童・生徒らと障がい者スポーツの体験をとおり、障がいに対し理解を深めながら体験を実施する。</p> <p>・車椅子バスケットボール体験ほか</p> <p>(3) チャレンジド・スポーツ育成サポート事業開催協力</p> <p>サントリー育成サポート事業</p>		
参考	<p>○東北サンさんプロジェクト</p> <p>サントリーグループが、「漁業」「子ども」「チャレンジド・スポーツ」「文化・スポーツ」の分野を中心に取り組む復興支援活動。その中の「チャレンジド・スポーツ」分野で支援を受けている。</p>		

【法人会計】（８）協会の運営

事業名	協会の運営に関わる管理経費等	予算額	500 千円
		前年度予算額	500 千円
目的	協会の運営に関わる評議員会、理事会等の会議の開催経費他、行政財産使用料、インターネット管理費及びプロバイダー契約料などの使用賃借料。法人運営に関わるアドバイザーの派遣費用等を確保し、安定した法人運営を目指す。		
内容	<p>事業概要</p> <p>①会議の開催</p> <p>（１）理事会</p> <p>ア 第1回理事会（平成31年6月予定） 平成30年度事業報告・収支決算について他</p> <p>イ 第2回理事会（平成32年3月予定） 2020年度事業計画・収支予算について他</p> <p>（２）評議員会</p> <p>ア 第1回評議員会（平成31年6月予定） 平成30年度事業報告・収支決算について他</p> <p>イ 第2回評議員会（平成32年3月予定） 2020年度事業計画・収支予算について他</p> <p>（３）定期監査（平成31年6月予定） 平成30年度事業実績・収支決算について</p> <p>②行政財産に係る管理経費 事務所貸借12ヶ月分（3.3㎡×人数分、高熱水費）</p> <p>③雑費 財務状況管理経費、法人運営指導</p> <p>④その他 需用費（消耗品等）、役務費（通信費等）、旅費等</p>		
参考			